

ハローキャリアワーク通信



12月1日に昭和信用金庫からの依頼のあった「ファミリー向け日帰り旅行の企画を考えよう」の1日目のプログラムが教育総合センターで行われました。7名参加の予定でしたが、1名が体調不良で欠席して6名で行われました。

初めに教育委員会の担当者より諸連絡及び注意事項、今日の流れなどの説明を受け、その後昭和信用金庫の営業支援部の宇都木氏はじめ担当してくださる木部氏、石津氏、旅行会社の担当者方からの自己紹介後、開始されました。

まず、昭和信用金庫の概要として、開業が昭和7年（1932年）で、今年で92年目、現在都内に

19店舗あり、そのうち世田谷区には10店舗あるとのことでした。そして、信用金庫の役割として、お金を預かり、地域でお金を必要としている人にお金を貸して地域の人たちのために町全体を元気にする応援をしているとのことでした。また、銀行と信用金庫の違いなども説明してくださいました。さらに昭和信用金庫の目的として、相互扶助や共存共栄の考えのもとに、もっとみんなが仲良く助け合って元気に過ごせるようにと考え、昭和信用金庫の「ファン」を増やす取り組みを行っていて、その取組みの1つとして「地域の人と旅行に行き、参加者たちが友だちになる」と考え、夏休みにファミリー向けの日帰り旅行を実施しており、今回みなさんに「家族で楽しめて、一緒に行った人たちが友だちになれるように『日帰り旅行』の企画を考えてほしい」とのことでした。説明の最後には、昨年度この企画をハローキャリアワークで行い、実現したツアーの様子についても写真やアンケート結果をもとに、話してくださいました。



この説明を受け、教育委員会の担当者と指導主事が、参加した子どもたちに自己紹介をしてもらい、その後アイスブレイクとしてゲームを行い雰囲気が和み、日帰り旅行の企画について開始しました。指導主事からは子どもたちに「親子で楽しめて、行きたい所ややってみたいことを書き出して」と伝え、各自が持参したタブレットの「Padlet」というアプリを使って、それぞれが考えことを集約して、映し出して共有を図りました。子どもたちの案には「工場での見学でワークショップ」「ジップラインができるところ」「フルーツ狩り」「バーベキュー、焼き肉」「釣りができる」「海水浴。プール」な



ど様々な考えが出てきました。また、「アイスクリーム、かき氷、乳しぼり体験」など考えもありました。参加者の次回への宿題として、これらの体験ができる関東近県の場所を探してくるようになりました。次回はより具体的に「親子で楽しめる日帰り旅行の計画」ができそうです。次回は年明けの1月7日になります。

